

RiWEN
BAOKAN WENZHANG
XUANDU

(第二版)

日文报刊 文章选读

刘振泉 刘浩 / 编著



北京大学出版社
PEKING UNIVERSITY PRESS

日文报刊文章选读

(第二版)

刘振泉 刘 浩 ◎ 编著



北京大学出版社
PEKING UNIVERSITY PRESS

图书在版编目(CIP)数据

日文报刊文章选读/刘振泉,刘浩编著. —2版. —北京:北京大学出版社,2011.1

(21世纪日语系列教材)

ISBN 978-7-301-16123-4

I. ①日… II. ①刘… ②刘… III. ①日语—阅读教学—教材
IV. ①H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2009)第 222881 号

书 名: 日文报刊文章选读(第二版)

著作责任者: 刘振泉 刘 浩 编著

责任编辑: 兰 婷

标准书号: ISBN 978-7-301-16123-4/H·2719

出版发行: 北京大学出版社

地 址: 北京市海淀区成府路 205 号 100871

网 址: <http://www.pup.cn>

电 话: 邮购部 62752015 发行部 62750672 编辑部 62759634

出版部 62754962

电子信箱: zbing@pup.pku.edu.cn

印 刷 者: 河北滦县鑫华书刊印刷厂

经 销 者: 新华书店

890 毫米×1240 毫米 A5 10.5 印张 280 千字

1993 年 10 月第 1 版

2011 年 1 月第 2 版 2011 年 8 月第 2 次印刷(总第 20 次印刷)

定 价: 26.00 元

未经许可,不得以任何方式复制或抄袭本书之部分或全部内容。

版权所有,侵权必究

举报电话: (010)62752024 电子信箱: fd@pup.pku.edu.cn

修订版前言

本书是大专院校日语本科高年级报刊课教材，也可供具有相应程度的日语学习者、涉外人员及日本问题研究者使用。

本书是在原书的基础上的修订版。全书共选用各类报刊文章二百多篇，并在附录部分对日本报刊及报刊的有关情况作了简要介绍。文章主要选自近年来的《每日新闻》、《朝日新闻》等日本的主要报刊、网络及各种杂志。

编选时尽量选用那些时间性不太强的文章，并注意到内容的多样性、代表性及趣味性。考虑到国内广大日语学习者阅读日本报刊的机会较少，对出现的新词语及语法难点做了注释。只需认真阅读选文及注释，便可打下阅读日文报刊的语言基础，提高日语的表达能力，并能掌握大量阅读日文报刊所必备的基本常识，扩大视野，了解日本社会及风土人情。在作为教材使用时，任课教员可以有选择地使用，并根据当时的报刊及杂志，适当补充一些有关的时事性文章。

由于编者水平有限，时间仓促，书中的错漏之处和不妥之处在所难免。热切期望诸位先生及广大读者不吝指教。

编者

2010年9月于北京

目 录

一、日本人的話 1

1. 日本の人口 1
2. 「奸詐な日本人」 3
3. 声かけると逃げる日本人 4
4. 増えています「老人深夜族」 6
5. 新婚生活はなかった 8
6. 捨てられぬ扇風機 10

二、日本語の話 12

1. 日本語はどこへ 12
2. 自国語を大切に 18
3. 日本語の「液状化現象」 20
4. 京言葉 21
5. おもしろい異体字 22
6. 辞書に載っていない漢字 24
7. 傘寿と米寿 25
8. 今さら聞けないコトバ 26

三、社会の話 30

1. 自然食ブーム 30
2. 女も男も金ピカピカ 32
3. その名はスペースマン 35
4. 宅配弁当 37
5. 東京の自然 40
6. 富士山は疲れてる 42
7. さすが老舗の大眺望 45
8. 煙たい話 46
9. 健康的なヤキモチを 48
10. 「少子化歯止め」効果疑問 49
11. 過労死防止骨抜き 51
12. 離婚社会と子供たち 52

四、政治の話 55

1. 三権分立主義と議院内閣制 55
2. カネの泥沼から抜け出せず 57
3. 買収文化 59
4. 日本の投票率は低い 60
5. 代理人運動 62

五、文化・芸術の話 65

1. 昭和俳句の精神を次世代に伝えたい 65
2. 桜葬 66
3. 日本画とは？ 69
4. 心のほぐし絵 70
5. 炎天祇園に古都の華 72
6. 夜の寺 妖怪行列 72

六、教育の話 74

1. 忘れぬ教育の有り難さ 74
2. 不正入試を考える 77
3. 規制緩和で揺らぐ大学の質 81
4. 四月病 83
5. 小育ての悩み尽きず 85
6. 小学校の英語必修化 86
7. 外国語教育の実態 87

七、IT業界の話 91

1. IT業界不人気の理由は？ 91
2. 企業、ブログパーツとブロガー 94
3. 休みもスキル磨き？ 97
4. 過去に行けちゃうといろいろ困るんですよ！ 98
5. 新型HDカムの実力 101
6. コンピューター自ら判断して問題解決？！ 108

八、エレクトロニック・エンターテインメントの話 109

1. 「東京ゲームショウ」は今年も開催！ 109
2. DSに新たなミステリーゲーム 111
3. 『スペースインベーダー』伝説 113
4. ギサブローのアニメでお茶を 116

九、天気の話 124

1. 四季 124
2. 日本の気候 125
3. 概況 127
4. あすの天気 131
5. 井の頭公園 桜まだ残る 134

十、スポーツの話 136

1. 大相撲 136
2. 勢いか面目か 137
3. スポーツ・ニュース 139
4. プロ野球中継 141
5. 走らない野球なんて 142
6. 回転投法 144

十一、環境の話 146

1. 深刻な環境問題 146
2. 「沙棘」で健康と荒地の緑化 147
3. 北極海の氷 史上最小に 149
4. 「水危機」への挑戦 150
5. 省エネ、節水など工夫 153
6. 「豊かさ」とは何か 154
7. 地球の気温が上がっている 159
8. 地球の未来 160

十二、珍聞の話 163

1. 詫卵の謎 163
2. CD聴く猫 165
3. 新しい発見 167
4. 琥珀の中に最古のハナバチ 172
5. なんと脚の先から糸を出すクモ！ 173
6. 地球サイズの超巨大台風！？ 174

十三、科学の話 175

1. こっち向いてよ、宇宙人！ 175

2. 宇宙酔い	178
3. 二十億年前の原子炉	179
4. ダチョウ検査薬産む	180
5. メスだけで安定繁殖	181
6. 不思議な液体、開発	183
7. サバがマグロを産む！？	183

十四、金融・経済の話 185

1. 為替	185
2. 対外黒字.....	187
3. OECD.....	188
4. MOSS	189
5. 三つの不安、市場に疑心	190
6. 怪しい口座 自動検出.....	192
7. 経済气象台	194
8. 携帯の活用拡大.....	199
9. GNIとGDPの差拡大.....	200
10. 都市 再生と創造性	202
11. 市場内外で大胆再編	203

十五、商業の話 206

1. 秘中の秘	206
2. 海産物	208
3. 果物	212
4. 野菜	215
5. 電気製品	216
6. 商法	219

十六、動物の話 223

1. カラスと人間 223
2. 珍鳥の発見に興奮 225
3. アンデスヤマネコ 226
4. 水族館 228
5. カマキリ牧場 230
6. カモシカ受難 232
7. トガリネズミ 233
8. パンダの性別、取り違い 235
9. コゲラ 237
10. ジンベエザメ 238

十七、植物の話 240

1. 木守りの女性「口がさっぱり」 240
2. 野の花に親しむ 241
3. 謎の草 243
4. サギソウ 244
5. 復興支えた針葉樹 245

十八、食生活の話 247

1. 日本料理事物起源 247
2. 美味しさ宅配便 249
3. おいしいのは黒いタケノコ 250
4. 美味巡礼の旅 252
5. 30分でおいしい赤飯 254
6. 東西で食パンの厚み違うの？ 255
7. 食卓の野菜の花 258

8. おいしさ発見	259
9. 鍋貼餃子の作り方	260

十九、健康の話 262

1. 最高の医療を漢方で	262
2. 肥満対策	263
3. がん	267
4. 忍び寄る病魔	274
5. 猛暑と熱中症	276
6. 高熱時の対応は	277
7. ストレスに弱い男たち	279
8. 「過換気症候群」について	280
9. いびき	281
10. お米と健康	283
11. ビタミンCが老化防ぐ?	284

二十、文学の話 285

1. 夢の鈴をチリリと鳴らす身近な神さま	285
2. 「坊っちゃん」を読んで漱石の問いを感じよう	288
3. 今朝のうた（一）	289
4. 今朝のうた（二）	290
5. 毎日俳壇	291

二十一、みんなの広場の話 295

1. 「母の日」に寄せて	295
2. 自然葬	298
3. うちのペット事情	300
4. 後悔	302
5. 自分のストレスサインを知る	303

附录 305

一、日本报刊简介	305
二、都道府县县名索引	314
三、都道府县与所属地区	318
四、县与县公署所在地	320

主要参考文献 323

一、日本人の話

1. 日本の人口

65歳以上が12%に 東京圏—極集中、一段と

男女別の人口は男子が6069万6724人、女子が6291万4443人。女子百人に対する男子の比率は96.5。

都道府県別の増加率ベスト3^[1]は埼玉（9.2%）、千葉（7.9%）、神奈川（7.4%）でいずれも東京の隣県。東京の人口は0.2%増とほぼ横ばいだが、東京圏四都県^[2]を合わせた人口は、総人口の四分の一に当たる3179万6702人で、前回調査より愛媛県一県分に相当する152万3524人（5.0%）増えた。

逆に人口が減少したのは、前回の秋田一県から十八道県に増えた。減少率の最大は青森の2.7%。

年齢別では、15歳未満の年少者の割合が18.2%（前回21.5%）と、1920年の調査開始以来最低に。一方、65歳以上の老年人口は、前回より26.8%増の約1489万人で、総人口に占める割合も過去最高の12.0%（同10.3%）と米国、カナダ並みに。このまま行くと2000年にはこの割合が17%を超え、スウェーデン^[3]と並んで世界一になる見込み。

晩婚化一層進み持家率は減少

29日発表の岡勢調査確定値では、日本人の晩婚化が一層進んで単身者が増加、子供の数が減って世帯平均人数が初めて3人を割った。また持ち家率も20年

ぶりに減少する一方、通勤・通学時間が増加、「豊かさを実感できる生活」からは違ざかりつつある^[4]。

【結婚】

年齢区分別の未婚率を見ると、どの年齢層でも未婚が増えている。特に適齢期といわれる二、三十代の未婚率が増加しており、25歳以上29歳以下では男性が64.4%（前回調査では60.4%）、女性が40.2%（同30.6%）。30歳以上34歳以下の場合も男性が32.6%（同28.1%）、女性が13.9%（同10.4%）。女性が急速に晩婚化している。米、英、仏、カナダの場合、86、87年の調査で同年齢の男性の未婚率が39.6—48.5%、女性が25.7—32.3%だから、日本がかなり晩婚であることがわかる。

【世帯数】

全国の世帯数は4067万475世帯で、前回より269万491世帯（7.1%）増加。核家族化^[5]と単身者が増えたため、世帯数は人口を上回る伸びが続いている。一世帯当たりでは2.99人と初めて3人を割った。一人世帯が四人世帯の数を上回ったのも初。単身者のうち下宿、寮などの共同生活者は減り、84.2%がアパートなどの一人暮らし。

【住宅】

持ち家に住んでいるのは前回より6.4%多い2405,9950世帯だが、世帯数の伸びに追いつけず、持ち家率は逆に前回の59.5%から59.2%に下がった。率が下がったのは70年以来。特に首都圏の率が低下した。

【通勤・通学】

今回、初めて通勤・通学時間を調べたところ、全国平均は31分で、30分以下が過半数だった。東京、大阪近県では通勤時間が長く、通勤・通学に一時間以上かけている人の割合は、奈良の39.9%を筆頭に▽神奈川39.1%▽千葉38.2%▽埼玉38.1%などで多くなっている。

《毎日新聞》1991年11月30日

【注释】

[1] ベスト3：排在前三位的。

[2] 東京圏四都県：指東京都和埼玉、千葉、神奈川三县。

[3] スウェーデン：（国名）瑞典。

[4] つつある：接动词连用形后，这里表示某动作正在进行，意为“正在……”。一般用于书面语。

[5] 核家族化：「核家族（かくかぞく）」指仅由夫妇和未婚子女构成的家族。通常包括夫妇家庭、夫妇与未婚子女家庭、父子家庭和母子家庭等。

2. 「奸詐な日本人」

先日気の置けない韓国人の友人と雑談していたとき、たまたま「国連平和維持活動協力法案」の話になった。「日本人は奸詐だからな」と友人は言った。

「奸詐」というのは、韓国語でも「カンサ」と発音する。日本語の意味は三省堂「大辞林」を引くと、「計略をめぐらして人を陥れようとする」と書いている。韓国語の意味も「ずる賢い」というようなものだが、日本語と違うのは、日本語では「奸詐」などという言葉はめったにお目にかかることがないのに対し、韓国語では日常語であることだ。

例えば、何かのスポーツで日本と韓国が対戦したとする。そして日本選手が勝ったとする。「ああ、日本人は奸詐だから」と言う。

小火器^[1]であろうと、大火器であろうと^[2]、軍隊が武器を携行して海外に出動し、部隊防衛のために武器使用が認められれば、それはれっきとした海外派兵であり、武力行使ではないか、と知人は考える。

「それに新聞を読んでいたら、日本政府は『国連平和維持軍』^[3]を『国連平和維持隊』と呼び方を変えたそうだが、呼称を変えたところで^[4]中身が変わるわけではないの」と言う。確かに「敗戦」を「終戦」と言い、「戦車」を「特車」と呼ぶなど、言葉で実態をごまかす特性が私たちにはあるようだ。

「最近の日本のはやり言葉は『国際貢献』だそうだが、『国際』という以上、国際的に通用している言葉で話すべきではないか。『軍』と呼ばうと『隊』と言おうと、英語では『FORCE』だが、韓国も中国も漢字圏だ」

日本では「国際」とは欧米人の理解を得ることのように考えられているのではないか。身近にある「国際」が抜け落ちているのではないか。しかも身近の「国際」に日本の被害を受けた人々が生きているというのに、これを視野に入れない「国際貢献」とはなんだ、というわけだ。

友人はどうもいつの日か「国連平和維持隊」から「国連」「平和」が抜け、最後には「日本軍」へ変身するのを「奸詐な日本人」ならやりかねない、と心配しているらしい。

(剛)

《毎日新聞》1991年10月3日

【注释】

- [1] 小火器（しょうかき）：轻型武器，小口径武器。反义词为「大火器（だいかき）」，指大炮等重型武器。
- [2] ……であろうと……であろうと：常用词语。“……也罢……也罢”，“无论……还是……，都……”。例如：室内であろうと室外であろうと、きれいに掃除してあった。／无论室内还是室外，都打扫得干干净净。
- [3] 「国連平和維持軍」：也叫「国連キプロス平和維持軍」(UNFICYP)。1963 年底，塞浦路斯境内发生了希腊血统居民和土耳其血统居民的武装冲突。联合国安理会根据塞浦路斯政府的请求，于第二年（1964）三月派遣了和平维持部队——联合国和平维持部队。其任务是防止再次发生武装冲突，帮助恢复、维持社会秩序，确保该地区的安全。
- [4] ところで：接在动词过去时的后面，表示“即使……也……”，“尽管……也……”。例如：そうあせったところで、すぐは解決できないよ。／你那么着急，也马上解决不了嘛！

3. 声かけると逃げる日本人

絵やぬいぐるみ^[1]、ブローチ^[2]などを売る露天商に、最近、外人の姿が目につく。ターベラー^[3]さんもその一人。町田市原町田の小田急町田駅南口に店を

広げ、カタコト^[4]の日本語で「コノエ、イカガデスカ」。往来から見た日本人の姿を語ってもらった。

——なぜ絵を売る商売を始めたのか。

日本へは観光に来た。食べ物、交通費、すべて高い。国内旅行の合間に^[5]絵を売って稼ぐ。稼いだお金でまた旅行するの。広島、金沢、京都、松本などに行った。

週に二、三日、町田に来て絵を売る。お昼ごろから日が暮れるころまで。日曜日はたくさん売れるし、周りの商店が休みの日は売れない。

——絵を売っていて、通る人の反応は^[6]。

目だけで見ていく人、立ち止まる人。立って見ているから声をかけると急に歩き出す人。多くの方は私が話しかけるとまじめな顔をして立ち去ってしまう。子供の反応は面白い。にっこり笑いかけると怖がってお母さんのほうに逃げて行ったり、このような格好（目を大きく開いて口を丸くして）で「ああ、びっくりした」と言う。

——商売の邪魔をされることは^[7]。

歩いている人からはない。でも、少年たちが時々周囲で騒いでうるさい。日本人は外国人に慣れていない。私の国オーストラリアには世界各地から移民してくる。だからみな区別しない。日本は日本人だけだから、外国人が珍しいのでしょう。でもそれが日本の文化なのだから、それでいいと私は思う。

——「日本人は国際人にならなくては^[8]」とよく言われるが、どう思いますか。

賛成しない。日本人は日本人^[9]。古くからの、豊かな文化がある。それが素晴らしいし、大切にするのがいい。西欧人と同じになる必要はないではないか。

《毎日新聞》1991年11月26日

【注釋】

[1] めいぐるみ：（内填棉絮的）布制玩偶，布制动物玩偶。

[2] ブローチ：饰针，别针。

[3] ターベラー：（人名）塔貝拉。澳大利亚墨尔本人。

[4] カタコト：指只言片语，含混不清的话。例如：彼女はカタコトまじりの英語を話